

アイドルナース 遊休看護師の活躍による ハッピーエンディングプロジェクト

平成の出島コンソーシアム

1

【事業概要】 事業の骨子

①目指す姿

- ・ 高齢者がどこに住んでいても、自分が望む**生活を全う**できる。
- ・ 専門性が高い看護師グループによる複数施設集中モニタリングにより、看護師の確保が困難な**介護施設**に働く職員が、安心・安全に勤務でき、更にそこに暮らす高齢者は望む生活を全う出来る。
- ・ 資格を持ちながら職に無い遊休看護師が、都合と収入を両立した**就労機会**を得られる。

②事業が必要とされる背景

- ・ **終の棲家**として在宅を希望する人は多い(60%以上)が、自宅で看取られる割合は12.8%(2014年)である。
- ・ **介護施設**では、夜間の見回りを職員が行っており、マンパワーによる限界や、非常時の問い合わせ先で不安を抱えている。
- ・ 資格を持ちながら看護職にない**遊休看護師**が、有資格者全体の約46%(平成26年度厚生労働省「看護職員の現状と推移」)存在する。

③課題

- ・ 自宅で最期を迎えたくてもそれをサポートする環境が不十分のため、**病院死**を選ばざるを得ない。
- ・ 介護施設や医療施設において、人手と専門性が**不足**している時間帯に、効率よく対応する仕組みが無い。
- ・ 医療機関に勤務していない遊休看護師は、一般就労以外に**資格を活かす**方法が無い。

④解決策

- V. **健康不安のある高齢者への在宅療養向け健康医療・生活支援対策**
- ・ 救急専門性が高い看護師グループを組織し、夜間に不安を抱える、複数の施設における**緊急対応**の指示を一箇所で行う。
- ・ 資格を持ちながら職にない遊休看護師を遊休看護師と定義、在宅・短時間勤務が可能な**就労環境**を提供する。

⑤ビジネスモデル

- ・ 遊休看護師の**アテンダント・健康コンシェルジュサービス**による月会費収入。
- ・ 対象施設へ各種センサーを配備し、Poraネットを介したN4による**集中モニタリング**対応による、ベッド数に応じた利用料収入。
- ・ 短時間勤務の複数遊休看護師をシフト組みして、ひとり前の看護師とし、**24時間365日**のサービス提供を可能にする。

⑥事業の効果

- ・ 会員は望む生活を全うする**ハッピーエンディング**を迎える事ができ、かつ無駄・不要を無くす事により、自治体の**医療費負担が軽減**する。
- ・ 特に夜勤看護職員不足による不安定運営と、職員の**職務不安を解消**し、さらに的確で迅速な緊急対応により、事故による終末を防ぐ。
- ・ 自己都合に悩む、遊休看護師の**勤務機会が増加**する。

⑦事業化に向けた計画

- ・ 遊休看護師の雇用目標**20人**(みなし5人)、N4の雇用目標**4人**(みなし1人)
- ・ 契約対象会員、施設の獲得目標:個人会員数**1,000名**、契約介護施設**800ベッド**(固定経費損益分岐点)
- ・ 教育セミナー年間**12回**

⑧本年度の達成目標

- ・ 初年度、**30%**の達成が目標。PDCAを実施、毎月の運営本部会議での実数確認による検証。
- ・ 遊休看護師の雇用目標**8人**(みなし2人)、N4の雇用目標**4人**(みなし1人)
- ・ 獲得目標:個人会員数**340名**、契約介護施設**270ベッド**。
- ・ 会員向け教育セミナー年度内**3回**

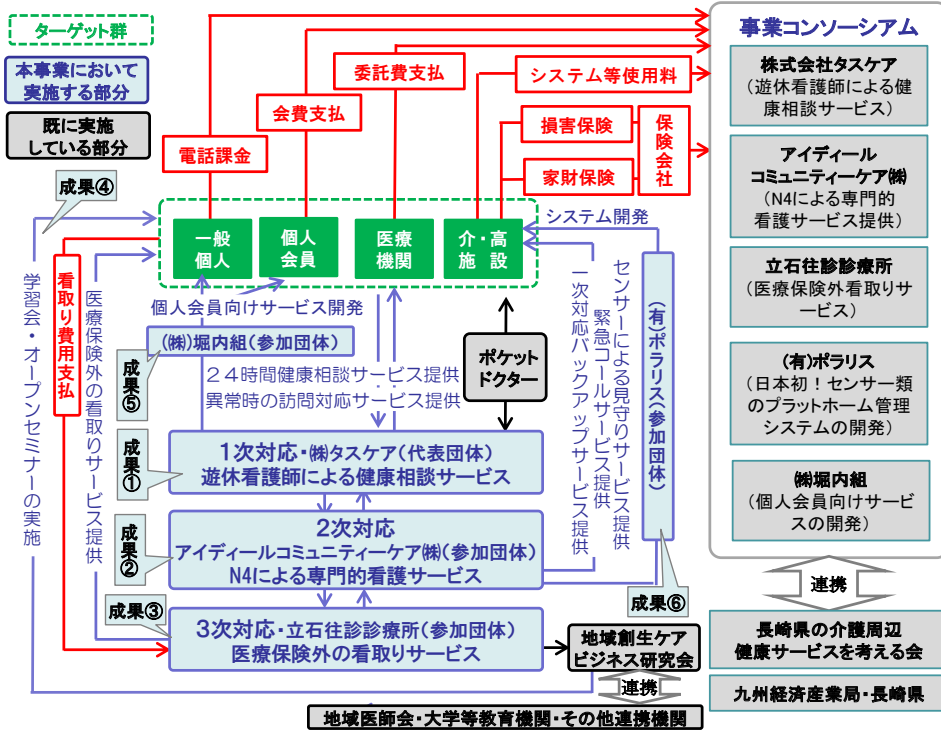
⑨本年度の実施内容

- ・ 参加事業所会員における、個人会員獲得、契約介護施設**拡販営業**。
- ・ 施設**遠隔モニタリングシステム**構築。
- ・ 遊休看護師/N4 **人員募集**。
- ・ 教育**セミナー開催**年次計画作成 初年度3回(2か月1回)開催。

2

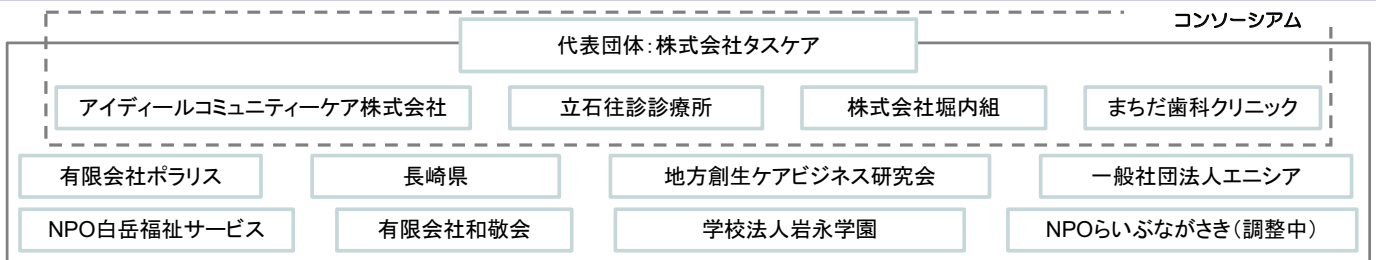
【事業概要】 事業の全体像

- ✓ 高齢者が、希望する場所で望む生を全うできる、医療保険外のアテンド・健康コンシェルジュサービスを提供する。
- ✓ 免許はあるが看護師として勤務していない遊休看護師を雇用、また救急対応に特化した臨床看護師グループ「N4」を組織し、看護師の新しい働き方を創出する。これらの活躍によって、在宅生活者・医療機関・介護施設を支援する。



- ### 事業実施による成果
- 成果①:** 遊休看護師の多数のスポット雇用により24時間365日をサービスを提供、何時でもアテンドする体制の構築により、在宅で望む生を全うできる。
 - 成果②:** 特に夜間、施設職員からの緊急相談への対応を行う事により安心・安全を提供し、自宅・高齢者住宅・介護施設において、自分が望む生を全うできる。
 - 成果③:** ①②のみでは困難な案件に対応する診療体制、**自宅での看取り**においては本当に必要な医療を医療保険外で提供する。
 - 成果④:** 納得でき満足のできる生を全うするための**新しいコンセプトを学ぶ**ことができる。また当コンソーシアムは、無駄・不要な医療を行わない事の大切さを**学ぶ**。
 - 成果⑤:** 既存の利用者ネットワークをコンソーシアムに提供して**事業性を向上**。また旧来の見守りと異なるサービス提供により、乏しかった収益性を改善する。
 - 成果⑥:** 長崎県の「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」により開発された**介護プラットフォーム「Poraネット」**が、当事業により、社会的に必要とされるシステムに昇華される。

実施体制・役割



関係事業者	従事予定者数	役割
代表団体 株式会社タスケア	3~11人	遊休看護師(1次対応)、居宅訪問
参加団体 アイディールコミュニティーケア株式会社	3~8人	施設管理、拡販営業、居宅訪問、N4(2次対応)
参加団体 立石往診診療所	1人	3次対応、学習会、啓蒙啓発
参加団体 株式会社堀内組	3人	きずなネットワーク管理運営
参加団体 まちだ歯科クリニック	未定	学習会、啓蒙啓発
協力団体 一般社団法人エニシア	2人	身元保証サービス、拡販営業、居宅訪問
協力団体 有限会社ポラリス	3人	基幹システム開発、運用、センサー管理
協力団体 長崎県/地域創生ケアビジネス研究会		ヘルスケア関連サービス研究
協力団体 NPOらいぶながさき		
協力団体 事業協力施設群		NPO白岳福祉サービス/有限会社和敬会 社会福祉法人佐々川福祉会、学校法人岩永学園

事業の詳細と計画

5

ハッピーエンディングとは

- 自分の望む終末期を過ごし、**生を全う**できる。
- 背景
 - 長崎県における**自宅での死亡割合**:15.6%(平成23年)、全国:18.0%
 - **終の棲家**として在宅を希望する人は多い(60%以上)が、自宅で看取られる割合は**12.4%**
 - 国も医療費削減のため在宅看取りを推進している。
 - 医療保険だけでは**サポートする環境**が不十分
 - 医療保険外での支援についてはボランティアなどの無償サービスが現状

→ 医療保険外のアテンダントサービス・健康コンシェルジュサービスを提供

- 最終目標
 - 医療と終末期に対する**意識を变革**
 - 無駄な医療、不要な医療を受ける必要がないことを理解
 - 納得でき満足のできる終末を迎えることができる
 - 医療保険費用の削減

6

アテンドサービス

- 遠隔見守りと異常時の指示・相談・必要に応じた訪問
- 健康不安を抱えた在宅居住者
 - 遠隔見守りシステムで24時間見守り体制
 - かかりつけ医や訪問診療医と本事業が一時契約による保険外サービス
- 看護師が常駐していない介護・高齢者施設
 - 看護師が居ない時間帯に対する見守り
 - 入所者の異常に対して見守りシステムからの情報を元に適切な対応
- 終末期の健康生活者
 - 在宅で最期を迎えたいと考えている高齢者・家族への適切なアドバイスとサポート
 - 終末期の見守り、保険外看取りサービス

7

健康コンシェルジュサービス

- 24時間対応で健康相談に応じるサービス
 - 健康に対して不安を感じたときに医療従事者に気楽に相談
 - さまざまな場面に対応し、適切なアドバイス
 - 救急車を呼ぶべきかどうか
 - 医療機関を受診すべきかどうか
 - 身体症状が気になっているが放置しても良いのか 等
- 会員外生活者、個人会員
 - 健康不安を感じて話し相手が欲しい人に対する健康相談
 - 救急車を呼ぶかどうかの判断に迷ったときに電話をすれば適切な対応を指示
 - 当番医など適切な医療機関の紹介や緊急性の判断
- 契約医療機関
 - 夜間休日時の電話対応

8

教育啓蒙事業

- セミナー等による教育啓蒙活動
- 会員、会員外、本事業に参加するメンバーに対して医療・生命に対する教育啓蒙活動
 - 医療に対する適切な考え方を広めていく事業
 - 人間が持つ治癒力によって疾病が治るのが生物としての自然な姿
 - 医療機関に行かなければならない症状というのはそれほど多くない
 - 終末期に至っておこなうべきでは無い医療行為もたくさんある
 - それを適切に見極め、自分・家族にとって必要な医療というのは何なのかが理解できれば、無駄な医療費を減らすことができる。

9

1次対応の主役 遊休看護師(アイドルナース)

- 資格を持ちながら職についていない遊休看護師(アイドルナース)
- 電話対応による健康相談サービスを24時間体制で行う。
- 電話対応を原則とするが、場合によっては訪問対応。
- 勤務は在宅、空き時間を利用した短時間勤務が可能
- コストの軽減
- 医療関係機関以外に看護師としての資格・能力を発揮する場を提供
- 都合と収入を両立した就労機会を得られる。

10

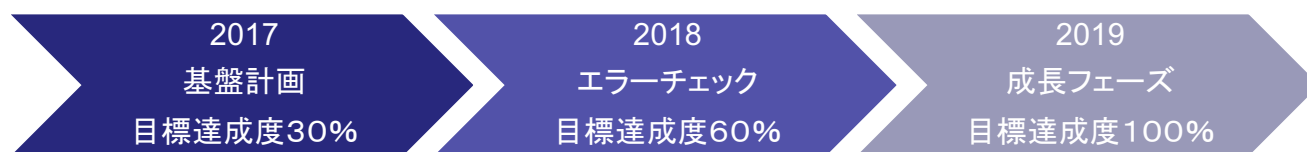
2次対応の主力 N4 専門性の高い看護師

- N4 (Nagasaki New Nurse Network)
- 長崎における救急救命に特化した**臨床看護師**グループ
- 看護師の確保が困難な介護施設への見守り
 - 緊急時対応に対して適切な判断と指示を行う見守りサービスをおこなう
 - 夜間に不安を抱える、複数の施設における緊急対応の指示を行う
 - 遊休看護師や訪問看護ステーションに依頼して訪問対応
- 介護施設に働く職員が、安心・安全に勤務できる体制を構築
- 遊休看護師のサポート
 - 現役から離れていた看護師が安心して働ける環境を提供

ビジネスモデルの概要

	利用シーン	サービス	価格
(1) 会員外健康生活者	話し相手を求める独居者 医者に行く姿を人に見せたくない方	専用有料ダイヤルによる健康／傷病相談	通話課金：1分100円
(2) 会員外救急対応	体調不良時 どこに何をどう問い合わせるかわからない方	長崎県の「夜間傷病対応ダイヤル」として、委託を受ける。簡単な案件には処置を指導し、必要に応じて対応当番医へ取り次ぐ。	月額500,000円 (長崎県運営委託)
(3) 健康な個人会員	話し相手を求める独居者 かかりつけ医が、簡単に行ける距離では無い所に住まう方	月1回までの無料電話健康相談＋月1回の電話連絡＋月1回の訪問	月額500円 (エニシア、不動産、保険事業所のサービスに追加課金)
(4) 疾患を有する在宅個人会員	同居家族にとって、判断が付かない事態が生じた場合	電話相談／遊休看護師、立石往診診療所による定期訪問	月額10,000円 個別相談による対応
(5) 終末期個人会員	同居家族にとって、判断が付かない事態が生じた場合。保険で対応ができない事案	電話相談／遊休看護師、立石往診診療所による定期訪問個別事案に対する保険外サービス	月額10,000円 個別相談による対応
(6) 医療機関	夜間・休日の電話対応	対応時間外に医療機関にかかってきた電話に応対し、適切な対応を指示する。	月額50,000円
(7) 介護・高齢者施設	夜間の看護師常駐により対応している案件	夜間職員が捉えた異常・センサーが捉えた異常に対し、N4が適切な処置を指導する。	月額3,000円／1病床

事業化に向けた計画



- 遊休看護師の雇用目標**20人**(みなし5人)
- N4の雇用目標**4人**(みなし1人)
- 個人会員数**1,000名**
- 契約介護施設**800ベッド**(固定経費損益分岐点)
- 教育セミナー年間**12回**

13

本年度の事業内容

1. 獲得目標: **個人会員340名**
 - A) (一社)エニシア: 既存顧客(身元保証サービス)である25名と会員契約。
 - B) (株)堀内組主催、きずなネットワークの利用者である約280名に対し、サービス説明&商談会を開催。
 - C) 地域創生ケアビジネス研究会において、事業説明会を実施。訪問介護・看護を始めとした会員事業者の個人ユーザへ対する販促協力を求める。
 - D) 地域包括支援センターへ事業説明。個別支援対象者の紹介を依頼。
 2. **契約介護施設270ベッド**
 - A) (株)タスケアに置く2名の営業員による、介護施設への拡販訪問。
 - B) 地域創生ケアビジネス研究会の会員、介護用品販売・製薬会社等とのインセンティブ契約により、訪問先への露出機会を創出する。
 3. **遊休看護師雇用目標8名**(常時2名運用体制)
 - A) 立石往診診療所を中心とした、募集計画の立案。Youtube、podcast等のネットツールを活用した募集活動。
 - B) 長崎県看護キャリア支援センターへ協力要請、連携。
 - C) 本格稼働までの措置として、訪問看護ステーションとの提携交渉。
 4. **N4雇用目標7名**(常時1名運用体制)
 - A) メンバーの所属病院・研究グループでの人選、声掛けによる募集。
 - B) ホームページを作成、SNSも活用した活動周知による勧誘。
- ✓ 対象フィールド: 長崎市を中心とした、長崎県全域。

